

インダストリアル・グローバルユニオン

エネルギー産業世界会議

2018年7月25～26日、ロシア・サンクトペテルブルク

「エネルギー産業で組合の力を強化」

連帯声明

世界各大陸の約 50 カ国の加盟全国組合およそ 70 団体から 200 人を超える代議員を集めて、2018 年 7 月 25～26 日にロシアのサンクトペテルブルクで開催中のインダストリアル・グローバルユニオン・エネルギー産業世界会議「エネルギー産業で組合の力を強化」の参加者は、会議続行中にギリシャで最悪の山火事が発生し、約 80 人が命を落としたことに心を痛めている。本会議は、ギリシャの労働者と国民に心より哀悼の意を表し、全面的な連帯を表明する。

同様に本会議は、ラオスでダムが決壊して水力発電所が全壊し、数百人が行方不明となり、6,600 人が家を失ったと聞いて、深い悲しみに包まれている。本会議は、ラオスのエネルギー労働者および国民と全面的に連帯することによって哀悼の意を表す。

また本会議は、進行中の下記 3 件についても強力な連帯声明を発表する。

1. オーストラリアのエクソン・モービル (UGL) 事件
2. アメリカのナショナル・グリッド事件
3. イギリスのトータル事件

オーストラリアのエクソン・モービル (UGL) 労働者との連帯

エクソン・モービルは世界有数の企業である。オーストラリアでは、同社は石油・ガスから数十億ドルの利益を得ているが、税金をまったく支払っていないことで悪名高い。

エクソン・モービルは 2017 年 6 月、オーストラリア・ビクトリア州のロングフォード工場
で保守作業員全員を解雇した。その後、請負業者の UGL を通して、同じ労働者たちに 40%
安い賃金で、労働条件を大幅に変更して再び仕事を提供した。

UGL はオーストラリアの反労働者的・反組合的な「フェア」・ワーク法に基づき、3,500 キロ
(ローマからサンクトペテルブルクまでの距離とほぼ同じ) 離れたウェスタン・オースト
ラリア州の小さい子会社を通して、この仕事を提供することができた。3 人がこの偽りの
「協約」に「賛成票」を投じた。

オーストラリア製造労組、オーストラリア労組および電力労組 (いずれもインダストリアル
加盟組織) の組合員は 1 年以上前からストを実施しており、夏の盛りにも冬の最中にもピケを
張り続けた。家族と地域社会、組合の支援のおかげで、組合員たちは堅調を維持している。

このインダストリオールのエネルギー労組会合は、ロングフォードの傘下組合と同僚たち
に深い連帯を表明する。私たちはエクソン・モービルに対し、これらの労働者および組合
と交渉するよう求め、労働者の復職を要求する。

さらに私たちは、傘下の全国組合を通してエクソン・モービルに責任を負わせることを約束
し、エクソン・モービルの現地代表 (国内にいる場合) と連絡を取り合ってロングフォード
での組合つぶし活動に関する説明を求める。

本会議は、ロングフォードの労働者にも連帯メッセージを送り、紛争が解決するまで機会
あるごとにエクソン・モービルの不愉快な行為を公にする。

私たちはロングフォードの同志を支持し、連帯と成功を祈る。

ロックアウトされた米ナショナル・グリッド労働者との連帯

インダストリアル・グローバルユニオン・エネルギー産業世界会議は、ナショナル・グリッドでロックアウトされた全米鉄鋼労組の組合員への全面的な支援と連帯を表明する。

本会議は、全米鉄鋼労組第 12003 支部と第 12012 支部の組合員 1,200 人のロックアウトと健康保険削減との闘いを全面的に支持し、ナショナル・グリッドが健康保険を復活させ、ロックアウトを終了し、労働者と誠実に交渉するよう要求する。

本会議は、組合員に同じ条件での就労継続を提示すると同時に、業務を中断しないようにするために交渉を続けるべきと考えているが、同社はそれどころか組合員をロックアウトし、管理者と契約労働者を使ってガス供給を維持しようとしている。十分な訓練を受けていない代替労働者の利用は公共の安全に脅威を与える。

本会議はナショナル・グリッドに対し、直ちにロックアウトを終了し、高度な技能を有する USW 組合員を復職させると同時に、公正な契約のための交渉を続けるよう求める。同社は、組合員を威嚇して生活水準と安全基準を引き下げようとする画策をいっさいやめなければならない。

5,000 万人のインダストリアル組合員は、USW ならびにナショナル・グリッドの USW 組合員に支援と連帯を表明する。

北海のトータル労働者との連帯

インダストリアル・グローバル・ユニオンのエネルギー産業世界会議は、イギリスの北海にあるトータルの施設とリグでスト中のユナイト組合員に、この支援・連帯メッセージを送る。

本会議は、適正な「ワーク・ライフ・バランス」を求めるユナイト組合員の闘いを支持し、「海上3週間・陸上3週間」勤務に反対するユナイト組合員の行動と、この勤務体制が遠隔地や危険地帯で雇用される労働者にもたらす問題を認識している。

本会議は、イギリスのトータル経営陣が、合法的な争議行為の準備をしていた労働者に対し、「警備の強化」をちらつかせて攻撃的な態度を取ったことも遺憾に思う。

本会議はトータルに対し、インダストリアル・グローバルユニオンとの **GFA** に基づく義務・責任の尊重を求め、同社がこの紛争の解決について直ちに建設的な形で討議するよう要求する。